



2021年度10月号

尚徳福祉会 おぐら保育園

木々の葉の色が変わり始め、秋の訪れも目に見えて分かるようになってきました。耳をすませば秋の虫の声が聞こえ、目を空に向ければ高く澄んだ空を見ることができます。本格的な秋の訪れに、外遊びを楽しんでいる子どもたち。昼夜の気温の差がある季節でもあるので、健康面には十分に気を付けていきたいと思います。



### ☆にじみ絵の制作☆

可愛い犬がボールで遊ぶ様子を表現しました。ボールは、にじみ絵で模様を作りました。丸い紙を折り畳み、2色の色水を染み込ませた後、紙を開くときれいな色が紙に染み込んで不思議な模様ができました。

準備をしていると、子どもたちは目をキラキラさせながら「早くしたいな」「何色にしようかな」とわくわくしていました。やり方をじっと見ている子、待ちきれず泣き出す子など反応は様々でしたが、いざ自分の番になると嬉しそうに色を決め、自分で紙に色を付け、折り畳んだ紙を開く時の何とも嬉しそうな表情が可愛らしかったです。友だちの作品ができあがる度に「わあ～！きれい！」と歓声を上げて喜んでいました。

犬の制作では、保育士と一緒に折ったり描いたりして素敵な表情の作品になり、満足そうな様子の子もたちでした。楽しみながら素敵な作品が完成しました。

### ☆自分でできることが増えてきました☆

靴下や靴、ズボンの着脱など身の回りのことを自分でしようと頑張る姿が多く見られるようになりました。

ズボンを自分で穿こうと、ズボンを持ち、片方ずつ足を入れ、一生懸命頑張る姿が微笑ましく思います。時には、片方の穴に2本の足が入ってしまうこともあり、「はけな～い」と言いながらもう1回チャレンジする姿も見られました。うまく穿けた時には、笑顔で「できた！」と嬉しそうにしていました。

これからも自分でできたという達成感や満足感が得られるように見守り応援していきたいと思います。

### ☆布団山で元気いっぱい☆

雨の日が続いたときは、保育室に大きな布団山を作って遊びました。子どもたちは大喜びでびよんびよんジャンプして楽しんでいます。

ころんと転がり揺れやシートのガサガサという音を楽しむ子、山を登ったり下りたりを繰り返し楽しむ子、保育士にころんと転がしてもらって楽しむ子、その迫力にびっくりして泣いてしまう子とさまざまな様子が見られました。次第に布団山の遊びにも慣れ、上手にジャンプしたり走り回ったりしてダイナミックに体を動かしていました。雨の日も全身を使って元気に遊ぶ子どもたちです。



### ☆お散歩に出かけました☆

散歩車の準備をしていると早速「乗りたい」「散歩に行きたい！」とわくわくして待ちきれない様子の子もたちでした。歩いている途中に近所の方に会うと、「こんにちは！」と元気な挨拶をして笑顔で手を振る様子も見られました。

公園では、猫じゃらしをたくさん見つけ、「くすぐった～い」と友だちと笑い合ったり、蝶やアリ、ダンゴ虫、コスモスの花などの虫や植物を発見したりして喜んでいました。

これからも天気の良い日には散歩に出掛け、たくさん身体を動かし、小さな生き物や植物に親しんだり季節を感じたりして楽しんでいってほしいと思います。

### ☆お願い☆

涼しくなり装いも半袖から長袖に切り替えている方も多くなりました。保育園のロッカーの着替えの衣替え、薄手の上着の準備もよろしくお願いします。改めて衣服、靴下等の持ち物に記名があるか再度確認もお願いいたします。